

学科競技問題

平成27年7月26日
八代ドライビングスクール

第29回熊本県フォークリフト運転競技大会学科競技問題

解答用紙に正しいと思うものについては解答欄の正を、誤っていると思うものについては解答欄の誤を塗りつぶして下さい。

関係法令10問

- 1 フォークリフトを用いて作業を行うとき、墜落による危険を防止する措置なしで、乗車席以外に労働者を乗せてはならない。
- 2 フォークリフトは、厚生労働大臣が定める規格又は安全装備を具備しなければ、譲渡し、貸与してはならない。
- 3 荷が落下しても運転者に危険を及ぼすおそれがない場合であれば、ヘッドガードが無くてもフォークリフトを使用することができる。
- 4 マストの後方に荷が落下して労働者に危険を及ぼすおそれがない場合であれば、バックレストの無いフォークリフトを使用することができる。
- 5 パレットのデッキボードの一部が大きく破損していても、荷が軽い場合は使用することができる。
- 6 フォークリフトには、月ごとに行う定期自主検査と、年ごとに行う特定自主検査がある。
- 7 定期自主検査の期間を超えて使用を停止していたフォークリフトをそのまま使用を再開してもよい。
- 8 荷を積んだフォークの下に入り、荷役装置の点検を行った。
- 9 作業を安全に行うため必要な照度が保持されている場所では、前照灯及び後照灯の装備されていないフォークリフトを使用してもよい。
- 10 狭い道路でフォークリフトの荷が労働者に接触するおそれがあったので、走行に注意するよう指示した。

学科競技問題

平成27年7月26日
八代ドライビングスクール

第29回熊本県フォークリフト運転競技大会学科競技問題

解答用紙に正しいと思うものについては解答欄の正を、誤っていると思うものについては解答欄の誤を塗りつぶして下さい。

走行に関する装置の構造・取扱いの方法10問

- 11 カウンタバランスフォークリフトは、前2輪が操行輪で、後2輪が駆動輪となっている。
- 12 エンジン式カウンタバランスフォークリフトのパワーステアリングは、エンジンの回転力で操向用油圧ポンプを駆動している。
- 13 エンジン式フォークリフトは、バッテリー式フォークリフトに比べて騒音が少ない。
- 14 ディーゼルエンジンの騒音、振動は、ガソリンエンジンに比べて大きい。
- 15 ディーゼルエンジンは電気火花による点火で、ガソリンエンジンは空気の圧縮熱による着火である。
- 16 ガソリンエンジンは、ディーゼルエンジンより運転経費が安い。
- 17 クラッチ車は、変速レバーを希望の位置に変えることにより、アクセルペダルを踏んだまま変速できる。
- 18 倍力装置付ブレーキは、エンジン停止の状態では作動しない。
- 19 立席式リーチフォークリフトのブレーキは、走行ブレーキと駐車ブレーキを兼ねている。
- 20 立席式リーチフォークリフトのブレーキは、ペダルを踏むとブレーキがかかり、離すとブレーキが解放される。

学科競技問題

平成27年7月26日
八代ドライビングスクール

第29回熊本県フォークリフト運転競技大会学科競技問題

解答用紙に正しいと思うものについては解答欄の正を、誤っていると思うものについては解答欄の誤を塗りつぶして下さい。

荷役に関する装置の構造・取扱いの方法20問

- 21 マストは、アウターマストの内側にインナーマストが組み込まれている。
- 22 リフトシリンダーは、マストおよびフォークを前後に傾ける油圧シリンダーである。
- 23 “スプリット積付け”とは、“レンガ積付け”をした場合、品物の形状により、品物相互の間にすき間ができるものをいう。
- 24 パレットが少し飛び出していたので、フォークの先端でつついて押し込んだ。
- 25 フォークリフトは、積み荷の前や取りおろしする場所の前に近付いたときは一旦停止させる。
- 26 油圧シリンダーは、流体エネルギー（圧力油）を機械的エネルギー（ピストンを介してロッドの往復運動）に変える装置である。
- 27 複動形は、ピストンの片側にのみ油圧がかけられ、1方向のみに力を出す。
- 28 荷を積んだときは、マストは垂直にして目的の場所に移動すること。
- 29 サイドシフトフォークは、フォークが左右にシフトすることができ、的確な位置決めが可能である。
- 30 回転クランプは、巻取り紙などをつかみ、横置きものを縦置きに積みかえる作業に便利である。
- 31 ラムリフトは、複数の荷を上から押さえて荷崩れを防ぐ作業に便利である。
- 32 “すえ切り”とは、走行しながらハンドルを回してかじ取り輪を動かすことをいう。
- 33 “収縮”とは、リーチフォークリフト及びサイドフォークリフトのフォークまたはマストを繰り出すことをいう。
- 34 積取りするときは、積付けしてある荷が荷崩れその他の危険がないか確認する。
- 35 運転者は、リフトした状態でフォークリフトから降りて積荷を確認する。
- 36 “インチング”とは、所定の位置に合わせるために車両を微速走行させることをいう。
- 37 “伸張”とは、フォークまたはマストを繰り込むこと。
- 38 単面形パレットは、荷を積んだままで積み重ねができる。
- 39 取りおろしする場所の前に近づいたとき、ゆっくり走行すれば一旦停止はしなくてもよい。
- 40 旋回するときは、周囲の安全を確認するとともに、外側への尻振りにも注意すること。

学科競技問題

平成27年7月26日
八代ドライビングスクール

第29回熊本県フォークリフト運転競技大会学科競技問題

解答用紙に正しいと思うものについては解答欄の正を、誤っていると思うものについては解答欄の誤を塗りつぶして下さい。

運転に必要な力学10問

- 41 2つ以上の力の合力を求めることを、「力の合成」という。
- 42 「力のモーメント」は、力の大きさと作用点までの距離（腕の長さ）の積で求められる。
- 43 「繰り返し荷重」とは、力の大きさは同じだが、力の向きが時間とともに変わる荷重である。
- 44 フォークリフトの走行中、車輪が穴に落ち込んだときなどに働く急激な荷重は「衝撃荷重」である。
- 45 一直線上で向きが同じ2つの力の合力は、それらの力の差である。
- 46 摩擦力は、接触する2つの面の面積に比例して大きくなる。
- 47 物体の「運動摩擦力」は、「最大静止摩擦力」より大きい。
- 48 「部材の断面積」を「その部材に働く荷重」で割ると、その部材の「応力」を求めることができる。
- 49 応力には、「引張応力」、「圧縮応力」、「せん断応力」、「曲げ応力」、「ねじり応力」などがある。
- 50 「ひずみ」とは、物体が荷重を受けたときの変形量の原型（元の形状）に対する割合である。

第29回熊本県フオークリフト運転競技大会学科競技回答

H27.7.26

問 1	問 2	問 3	問 4	問 5	問 6	問 7	問 8	問 9	問 10	問 11	問 12	問 13	問 14	問 15	問 16	問 17	問 18	問 19	問 20
○	○	○	○	×	○	×	×	○	×	×	○	×	○	×	×	×	○	○	×

問 21	問 22	問 23	問 24	問 25	問 26	問 27	問 28	問 29	問 30	問 31	問 32	問 33	問 34	問 35	問 36	問 37	問 38	問 39	問 40
○	×	○	×	○	○	×	×	○	○	×	×	×	○	×	○	×	×	×	○

問 41	問 42	問 43	問 44	問 45	問 46	問 47	問 48	問 49	問 50
○	○	×	○	×	×	×	×	○	○